

衣類循環に向けた取り組み

5【衣類のシェアリングサービスを実施している事業者】 ■株式会社エアークローゼット

取り組み概要 及び 効果

●2015年に日本初の普段着のファッションレンタル(シェアリング)サービス「airCloset(エアークローゼット)」をスタート。
月額会員数は約3万8000人(2024年12月)。

●シェアリングによる衣服の過剰生産・廃棄の抑制で

CO2排出量19%削減、廃棄物排出量27%削減(※)。

※環境省「令和4年度デジタル技術を活用した脱炭素型資源循環ビジネスの効果実証事業」

●複雑なオペレーションを集約させた独自の循環型物流プラットフォーム「AC-PORT」の構築で、循環型のビジネスモデルを実現・高効率化。プラットフォームは他社へも提供。

今後、循環型プラットフォームの仕組みをファッション業界はもちろん、それ以外の業界にも広げ、資源循環の促進につなげたい！

●インターネットを活用したレンタルサービスとして「airCloset」のほか、家電などをレンタルできる「airCloset Mall」、ドレスレンタルサービス「airCloset Dress」も展開。

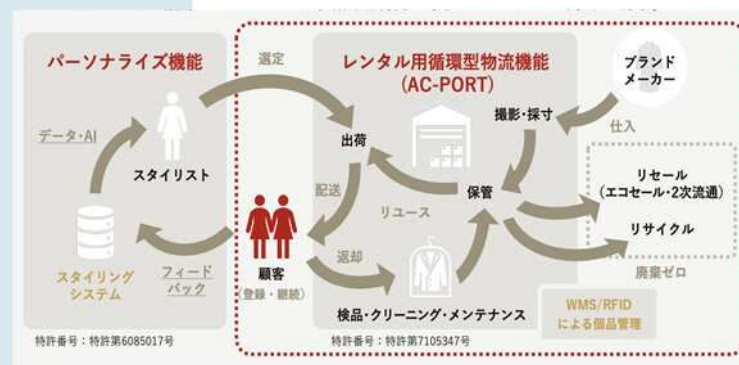


株式会社エアークローゼット
代表取締役社長 兼 CEO／天沼 聡
所在地／東京都港区南青山3-1-31
KD南青山ビル5F
<https://corp.air-closet.com>

airCloset

2014年創業。「“ワクワク”が空気のようにあたりまえになる世界へ」をビジョンに、創業当時からレンタル(シェアリング)に特化した独自の物流システムを構築、2015年から月額制ファッションレンタルサービス「airCloset」を開始。

単にレンタルするだけでなく、スタイリストがコーディネートする「パーソナルスタイリング」も提供。洋服を買いに行く・選ぶなどの時間を短縮し「一人ひとりの時間の価値」を高め、「楽しく持続」できる循環型サービスを実現している。



airClosetの事業構造。